

RPPC メールマガジン 第 717 号

リサイクルポート推進協議会(平成 30 年 3 月 14 日発行)

■先週・今週の報道発表

船舶の再資源化解体の適正な実施に関する法律案の閣議決定について

■RPPC 事務局からのお知らせ

先週・今週のお知らせは特にありません。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 第 3 回リサイクルP施策の高度化、港湾への産業副産物利用で議論
2. 港湾工事の「ICT活用工事」、来年度各地整で試行工事
3. 大阪港北港南地区航路附帯施設で護岸(3)の裏込等工事

=====

◆先週・今週の報道発表

船舶の再資源化解体の適正な実施に関する法律案の閣議決定について

【環境省】

<http://www.env.go.jp/press/105228.html>

=====

◆リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 第 3 回リサイクルP施策の高度化、港湾への産業副産物利用で議論

国土交通省港湾局は 3 月 6 日、「リサイクルポート施策の高度化研究会（座長・勝見武京都大学大学院教授）」の第 3 回研究会を開催した。

「港湾における産業副産物利用」をテーマに、鉄鋼スラグや石炭灰など主な産業副産物の安定的な利用先の確保やその利用の円滑化方策などについて議論した。

新たな利用先としてブルーカーボンとして期待が高い藻場造成材として鉄鋼スラグ等の産業副産物の活用への声があった。同研究会は今回の第 3 回会合が最終にあたり、港湾局では同日の議論、並びに第 1 回研究会（鉄スクラップ輸出の現状・課題等）、第 2 回（災害廃棄物の広域処理等）の成果も

踏まえ、リサイクルポート施策の高度化方策として近く公表する予定。

2. 港湾工事の「ICT活用工事」、来年度各地整で試行工事

国土交通省港湾局は来年度、防波堤等の基礎工（投入・均し）と消波ブロック据付工を対象に、マルチビームや水中施工箇所の可視化技術を導入した「ICT活用工事」のモデル工事を行う。また各地方整備局で1～2件、合計10件程度の試行工事を実施する。3月2日に開催した「第5回港湾におけるICT導入検討委員会（委員長・岩波光保東京工業大学大学院教授）」で、同方向性を含めたICT導入に係るロードマップ案について審議した。

3. 大阪港北港南地区航路附帯施設で護岸（3）の裏込等工事

近畿地方整備局大阪港湾・空港整備事務所は、30年度第2四半期の入札予定案件として、大阪港北港南地区航路（水深16m）附帯施設護岸（3）を対象とする裏込・裏埋工事を予定している。同工事により護岸（3）はほぼ最終段階まで進捗する。このほか、30年度予算を待って、護岸（1）と護岸（2）についても、追加の盛土工事を予定している。これら工事により大阪港北港南地区航路附帯施設護岸はいずれも水切り状態にまで進み、31年度中には浚渫土砂の受入も可能になる見通し。

護岸（3）は本体のケーソン設置を過年度に終え、現在は内側の裏込・裏埋工事が順次進んでいる。また30年度早期からの工事着手案件として現在、護岸（1）等基礎工事を入札手続き中で、同工事の中に護岸（3）を対象とする裏込・裏埋工事が含まれている。発注見通しに挙げているのはこの工事に続くもので、概ね30年度末までにケーソン背後の裏埋等工事をほぼ終えることになる。

【港湾空港タイムス 18年03月12日号から編集】

発行：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

ツネイシカムテックス（株）

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。